



森ボラ 通信

第202号 2019年3月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター

TEL (fax): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

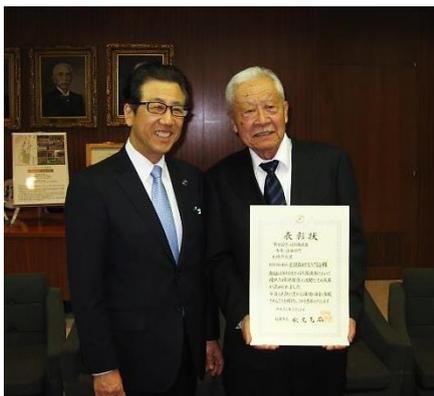
■ トピックス

◆ さっぽろ環境賞・市長賞を受賞！

～“ホテルが舞い子どもたちが学ぶ札幌の里山づくり”が評価され～

2月26日に札幌市役所庁舎で「第10回さっぽろ環境賞」の授賞式があり、当協会はさっぽろ環境賞のうちの市民・団体部門で最高の市長賞を受賞しました。

「さっぽろ環境賞」は、札幌の豊かな環境の保全に貢献する個人、企業および団体を顕彰するもので、今回の当協会の受賞は、澄川都市環境林を巨木の森に甦らせ、生き物を護り、子どもたちが遊ぶ里山にしようとして活動している過程で発見されたホテルやエ



ンジンやウオなど多様な生き物の生息環境を守るとともに、親子森林教室を開催して子どもたちへの環境教育にも力をいれている多面的な活動が選考委員全員から高く評価されての受賞ということです。

授賞式では秋元札幌市長から当協会代表が表彰状と副賞のトロフィーを貰い、横山理事長の謝辞を酒井代表幹事が代読して、これからもアーバンフォレストを目指して育林活動や生態系保全活動、環境教育活動に取り組んでいく決意を述べました。

(文・事務局)

■ 活動報告

◆ 澄川南小学校2年生総合学習（葉っぱの話）

3月5日2校時（9:35～10:20）の45分間、学校で葉っぱの話を酒井さんが行いました。例年は紅桜公園横の森で林内観察や冬芽の話を行っていましたが森の所有者が不明で未承諾での利用はまずいだろうと、特に2年生はスノーシューを履くことと歩く事が主な学習の為、グラウンドでも可能なので葉っぱの話だけ学校でという事になり多目的室で生徒62名を対象に行う事になりました。

葉っぱの話はどちらが表でどちらが裏か？ に始まり裏には穴がいっぱい空いていて綺麗な空気を作っているんだよ。

又秋になると葉っぱは緑色から何色に変わるかな？ 黄色！赤色！紫！茶色！どれも正解です！

クイズで子供達と元気にやり取りを行い、最後に絵本の『葉っぱのフレディ』に結びつけ、春に生まれて秋に散って一生を終える話、子供達にどこまで伝わったか不明ですがぜひ図書館で借りて読んでほしい事を付け加えて終わりました。



追記：聖路加病院の日野原元名誉院長が『葉っぱのフレディ』を読んで共鳴を受けて『フレディから学んだこと』と言う本を出版されているそうです。興味のある方は一度読まれてはいかがでしょうか。

(文・大窪)



◆ 澄川南小4年生の冬の森観察会を支援

曇ってはいたが比較的暖かい2月19日に、澄川南小学校4年生が冬の森観察会で澄川環境林を訪れ、協会員が林内散策案内と冬芽の話をしました。



朝10時に4年生2クラス49名と引率の先生3名が森の北側入口に到着し、持ってきたスノーシューを履いて協会員の案内で林内散策に出発しました。4年生は5月以来の久しぶりの森歩きで冬の森です。児童たちからは「魂を入れて歩くぞ!」といった掛け声もかかって、みんな元気に森に分け入って行きました。途中で雪上に残る動物の足跡を観察したり、スノーシューが外れた友達や疲れた友達を気遣う優しさも見せながら、樹木園手前のマイツリー設置場所まで歩きました。

マイツリーのところでは、昨年、3年生の時に付けて割れた樹名板を取り替えたり、自分たちの木が冬はどんな様子でいるのかを観察したりして森の中を歩き回っていました。その後、組ごとに分かれて冬芽の話聞くことになり、酒井さんがミズナラの冬芽と木の種の移動方法の話、西野(澄)さんがホオノキの冬芽の話をしました。児童からは、どうしてホオノキは真っ直ぐ伸びるのか(さて、どう答えますか?)、アイヌの人達が飲んだというホオノキの実のお茶は美味しかったのか、などの質問が飛び出しました。(文・清澤)

◆ 森ボラセミナーを聞いて

2月20日の冬季セミナーは東大卒の農学博士平川浩文氏による講演で全国を走り回り、そこで得た野生動物の生態について、監視カメラを通してエゾシカやヒグマ等の珍しい写真を見ることができました。科学技術の向上で自然観察が進み未知の解明が期待できそうです。先生の研究テーマの一つとしてコテンゴコウモリについての発表がありました。



道内でも生息していますが夜行性で小さく簡単に見られるものではありません。コウモリは吸血鬼やご都合主義のイメージが強くあまり人気がありません。そんな生態に興味を示す人は貴重な存在です。このコウモリは体重7g前後の哺乳類で必要なエネルギーは自力で発熱させる性質があり逆に眠りレーダーを発信して飛ぶ事は知られています。野草でもコウモリにちなんだ名前があります。ミミコウモリやヨブスマ草がそうです。

今回はコウモリの越冬についての考察でした。場所は不明ですが雪解けの頃偶然にも丸い小さな団子状で雪の中から発見され、その深さや形から様々な推論がなされ越冬するのではないかと云うのです。この論文はまだ仮説の段階であり結論が楽しみです。コウモリは枯れ木の樹皮やアカナラ等の大きな葉の中にもいるそうです。澄川の森にも注意してみれば見つかるかもしれません。

先生の話聞いて感じたことは野生生物の生態解明という課題で執念深く生物多様性に取り組む学者の生き方は孤独で地味な戦いではなかろうか、誰も気がつかない所に研究対象を見つけ人知れず不十分な環境の中で苦闘し苦悩する姿を想像してしまいました。自分の研究成果が人間生活にどう貢献、反映されるのか分からないままに仮説を立て立証して定説とするエネルギーは凄まじいものがあります。深く鋭い自然観察により誰にでも新しい発見の可能性はあるのです。のんびりしてはいられません。

ボーっとしていたらチョコちゃんに怒られます。(文・加藤)



◆ シラカンバとクリの木の整理伐を見てスタートです！

～第6回親子森林教室・森しり隊の活動報告～

2月17日(日曜日)に第6回親子森林教室、森しり隊の活動を行いました。前日まで冷凍庫の中に住まっているような寒さが続き寒さ対策が大変だなと思っていましたが、17日から気温がぐっと上がっておだやかな1日になり先ずはほっとしました。参加者は隊員7名、保護者等6名、協会員17名の総勢30名です。



スノーシューを履いて冬の森に分け入る

スケジュールに従い、まずラジオ体操で体をほぐし、スノーシューを履いて、子供たちは2班に分かれ、それぞれ協会員に付き添われながら森の中へ。なかなかみんなスノーシューを上手に履きこなしています。途中、動物の足跡を観察しながら歩きました。キタキツネがほとんどで、その他タヌキと思われるものやエゾシカが木の皮を食べた後の食痕を見ました。動物の足跡が少なく感じます。

目的地のB-8区に着き、チェンソーによる整理伐の見学からスタートです。直径30cm程もあるシラカンバは傾斜木で、それも懸り木になりそうなのでチルホールを使い、子供たちにもロープで引っぱることにしました。

「受け口・追い口」の説明を聞き、いよいよチェンソーで伐り始め、チルホールで引っぱり、子供たちも力を合わせたのですが残念ながら懸り木になってしまいました。何回か玉切りにし、最後短くなってから再度子供たちがロープで引っぱり倒しました。歓声が上がりました。

その後、班毎にあらかじめ選定されていた木の樹高の測定方法を勉強し、また、一人1本ずつ手ノコで伐採を体験しました。伐った木は2mの玉伐りにし、枝も細かく切り、山の傾斜に合わせて処理してもらいました。



みんなでロープを一生懸命引っ張る

第2物置小屋に戻ってから小屋裏の森で冬芽の観察です。ホオノキ、ミズナラ、キタコブシ、澄川の森の代表的な樹種です。女性協会員3人がそれぞれ説明役をしました。その後、協会員の酒井さんから総括的なお話と針葉樹が自然の遷移として減少している話を聞きました。

やっと楽しみなお昼ご飯です。そして、腹ごしらえも出来たら、さあソリ遊びです。駐車場に上る坂で大はしゃぎです。思ったよりスピードが出ている様で楽しい時間でした。

最後に、いつもの様にみんなでまとめをして解散しました。お天気もおだやかで、子供たちもお互い気心もわかり、楽しげに学び、体験し、遊び、充実した時間を過ごせたと思います。

(文・西野(澄))

◆ 『森ボラ図書コーナー』案内 ◆

今回は新聞の書評等により「森林・山村多面的機能発揮対策事業交付金」を活用して購入した図書を紹介します。閲覧、貸出し、今後の購入希望図書がありましたら市山、櫃棒まで連絡をお願いします。(事務局)

森ボラ図書コーナー蔵書

番号	図書名	著者	発行所	本体価格(円)	購入年月日
60	『保持林業』	柿澤 宏昭他	(株)築地書館	2,700	2019/2/7
61 62	『2018 北海道の巨樹・名木 150 選』	今田 秀樹	協力: 北海道森と緑の会	2,800	2019/2/22

■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・西野(俵)・矢澤

1. 2019年4月、5月スケジュール：雪解けが早いため、内容修正（4月幹事会4月5日(金)）
2. 親子森林教室：3/24のスケジュール及び準備の確認
3. 森林・山林多面関係：次年度も今年度と同程度申請
4. 札幌市からの指導：札幌市環境林での火の使用厳禁他
5. 報告：2/13 「生物多様性フォーラム」酒井さん発表
 - ・2/15 「野幌森林再生活動連絡会」：昨年9月の風台風による被害面積が約70ha
6. 各専門委員報告
 - ・冬季セミナー 3/13 会員例会：『多面関係及び各地の生長調査』：樫棒
講演：『揺れ動く大地—札幌は千島前弧西進の変形フロント』：
(株)アイビー 地質情報室 理学博士 宮坂省吾さん
 - ・ホームページ改修・・・清澤（予定通り4月から移行）
 - ・申請関係：みどりところの基金、第8次ローソン募金、トム・ソーヤスクール申請中
7. 現場対応他
 - ・3/8 「ボランティア活動連絡会」（石狩森林管理署）：樫棒、清澤、大窪参加
 - ・3/24 第7回親子森林教室及び修了式（澄川環境林及び駒岡保養センター）
 - ・4/7 第1回親子森林教室開催（札幌エルプラザ）
8. その他
 - ・新年度活動方針他
 - ・2019年2月会計報告及び年度末予想

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
2月15日(金)	澄川	13	E-5区整理伐
2月17日(日)	澄川	17	第6回親子森林教室
2月19日(火)	澄川	13	E-5区整理伐
2月20日(水)	札幌エルプラザ 冬季セミナー	21	会員例会（2019年度親子森林教室について） 講演『動物たちの今を知る - 野生生物観測の現在』平川浩文さん
2月23日(土)	澄川	11	E-5区整理伐
2月27日(水)	澄川	16	E-5区整理伐、観察会(旧阿部林作業道探索)
3月2日(土)	澄川	15	E-5区整理伐
3月5日(火)	澄川	15	E-5区整理伐、澄南小2年生校内学習支援、樹液採取
3月6日(金)	ラルズ生活研究C	10	幹事会
3月7日(木)	澄川	14	E-5区整理伐、樹液採取
3月11日(月)	澄川	12	E-5区整理伐、樹液採取
3月13日(水)	札幌エルプラザ 冬季セミナー	20	会員例会（多面活動及び各活動地の生長調査） 講演『揺れ動く大地—札幌は千島前弧西進の変形フロント』宮坂省吾さん